



2021年度日本水文科学会総会

日時：2021年10月31日（日） 18:00 ～20:00

場所： オンライン開催

次第

1. 議題

1.1 報告事項(2020 年度)

- (1) 2020 年度事業報告 (資料 1)
- (2) 2020 年度決算報告 (資料 2)
- (3) 2020 年度会計監査報告 (資料 3)

1.2 審議事項

- (1) 2021 年度事業計画 (資料 4)
- (2) 2021 年度予算案 (資料 5)
- (3) 会則 9 条(会費)の改定について (資料 6)
- (4) 名誉会員の推薦について (資料 7)

1.3 報告事項(2021 年度)

- (1) 学会賞の選考結果について (資料 8)
- (2) 日本水文科学会優秀発表賞選考規程の改定について (資料 9)

2. その他

- (1) 2022 年度学術大会について
- (2) 学会誌バックナンバーの整理について

3. 表彰式

- (1) 学会賞
- (2) 名誉会員

1.1 報告事項(2020年度)

1.1 (1). 2020年度事業報告

資料 1

A 庶務委員会

(1)会員管理【国際文献社委託事務】

(2021年3月31日現在)

年度末	名誉 会員	正会員			学生	準会員	小計	賛助 会員	購読 会員
		一般	シニア	永年					
2020年度 (Web会 員内数)	13名	161名 (64名)	12名 (6名)	1名	12名	1名	201 名	3機関	10機関

※書店下ろし含む(内5件が書店下ろし)

その他 寄贈6件、広告会員 2社

2020年度入会者数 正会員：2、学生会員：1、購読会員：1

2020年度退会者数 正会員：8、学生会員：3、購読会員：1

(2)会誌・その他の連絡物の発送【国際文献社委託事務】

発送回数	発送先	発送内容	印刷数	発送数(部数)	発送年月日
第1回	一斉発送	学会誌 50(1)	170部	137件(142)	2020年4月28日
第2回	一斉発送	学会誌 50(2)	170部	139件(144)	2020年8月31日
第3回	一斉発送	学会誌 50(3)	170部	139件(144)	2020年12月17日

(3)事務業務の一部外部委託

委託先・契約	委託内容
(株)国際文献社：	庶務事務・会計事務の一部
さくらのレンタルサーバスタンダード	学会ホームページ、学会メールアドレスサーバ

B 会計委員会

(1)会費の徴収

(2)会務に伴う出納処理

- ・各種請求書類の発行

(3)会費納入率の向上への取り組み

- ・会費未納者あてに督促状を送付

(4)その他

- ・書店会員への請求

C 編集委員会

(1) 会誌の発行

巻	号	発行年月日	掲載数	
50	1	2020年4月25日 (37ページ)	5	巻頭言×1, 研究ノート×1, 企画×2, 書評×1
50	2	2020年8月25日 (70ページ)	7	総説×1, 論文×2, 研究ノート×1, 企画×2, 学会記事×1
50	3	2020年12月25日 (21ページ)	3	資料×1, 企画×1, 書評×1

※掲載数には、巻頭言、総説、論文、研究ノート、資料、企画、討論、講演再録、報告、書評・紹介、学会記事、その他を含む。

(2) 投稿受付・査読審査状況：2020年度：投稿2, 掲載1, リジェクト0

※特集原稿除く

(3) 水文科学会誌オンライン公開 2020年度 Vol. 50. No. 1～Vol. 50. No. 3
(<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/jahs/-char/ja/>)

D 集会委員会

(1) 総会の開催 郵送による実施

郵送による実施（質問受付 2020年9月21日(月)まで、投票〆切 9月30日(水)）

(2) 2020年度学術大会の開催に向けた準備（中止）

2020年9月16日(水)～9月19日(土) 水文・水資源学会との合同大会

(3) 水文・水資源学会の関係委員会および大会実行委員会との連携の構築

E 企画・広報委員会

(1) 研究ワーキンググループ

- ・ SWATモデルによる水文過程変動の定量化ワーキンググループの設置
(代表 斉藤光代：2年計画のうち2年目) 5万円/年

(2) 災害時緊急調査補助金 なし

(3) 地球惑星科学連合大会での4学会共催セッション (A-HW30)

代表コンビーナ：小谷亜由美（水文・水資源学会・名大）、コンビーナ：林 武司（地下水学会・秋田大）、福士圭介（地球化学会・金沢大）、田上雅浩（日本水文科学会・東大）

(4) 地球惑星科学連合大会での他の共催セッション

「水圏生態系における物質および栄養塩の輸送と循環：源流から沿岸まで／
Transportation and cycling of materials and nutrients in aquatic ecosystems; from headwaters to coastal areas」代表：伴修平（滋賀県立大・陸水学会系）

(5) 地球惑星科学連合各種委員会委員の派遣・推薦（～2020.5.30）

- ・ 代表者 (会長) 近藤昭彦
- ・ 事務局 (庶務委員長) 宮下雄次
- ・ 連絡委員 (企画委員長) 町田 功
- ・ 環境・災害対応委員会 (学会推薦) 林 武司

- ・教育検討委員（学会推薦） 上村剛史
- ・プログラム委員（学会推薦） 田上雅浩
- (6) 学会ホームページの更新
 - ・迅速なアップの体制の維持
- (7) メーリングリスト
 - ・HDEメーリングリストシステム（配信可能者：町田・飯田）
- (8) 水文誌ミニ巡検

コロナ禍により中止（第5回 一島嶼の水環境の現状と課題－五島列島の水利用の文化と歴史－ 2020年3月21日 （案内人）小寺浩二）
- (9) その他 マイページでの早期論文、会告・学会記事等のPDFのアップの維持
（編集委員会・庶務委員会）

F 学会賞選考委員会

- a) 学会賞選考委員会・委員の改選
 - （2019年度） 新任：一柳会員、井川会員、中村会員、鈴木（秀）会員の4名
 - （2020年度） 新任：石井委員、杉田（倫）委員の2名
- b) 研究奨励賞
 - （2019年度） 築場 大将 会員（札幌市役所）
 - （2020年度） 対象者なし
- c) 学術賞
 - （2019年度） 対象者なし
 - （2020年度） 対象者なし
- d) 功績賞
 - （2019年度） 対象者なし
 - （2020年度） 対象者なし

1.1 (2) 2020 年度決算報告

資料

2020年度収支計算書

2020年4月1日から2021年3月31日まで

Ⅰ. 収入の部

勘定科目		当年度予算額	収入済額	差	備考
大科目	小科目	A	B	B-A	
会費収入	正会員(一般) 会費	¥ 800,000	¥ 736,000	¥ -64,000	会費¥8,000*92
	正会員(一般web) 会費	¥ 256,000	¥ 276,000	¥ 20,000	会費¥4,000*69
	正会員(シニア) 会費	¥ 28,000	¥ 20,000	¥ -8,000	会費¥4,000*5
	正会員(永年) 会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥50,000
	正会員(永年web) 会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥20,000
	学生会費	¥ 17,000	¥ 12,000	¥ -5,000	会費¥1,000*12
	準会員会費	¥ 1,000	¥ -	¥ -1,000	会費¥1,000
	購読会員会費 (書店販売含む)	¥ 156,000	¥ 172,000	¥ 16,000	購読¥14,000*8(書店¥12,000*5)
	賛助会員会費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	一口¥20,000 3社5口
小計		¥ 1,358,000	¥ 1,316,000	¥ -42,000	
大会収入	大会収入	¥ -	¥ -	¥ -	
雑収入	利息収入	¥ 27	¥ 26	¥ -1	
	学会データベース	¥ 30,000	¥ 93,696	¥ 63,696	著作権料
	バックナンバー売り上げ	¥ -	¥ -	¥ -	
	広告ほか	¥ 70,000	¥ 70,000	¥ -	2社(¥40,000+¥30,000)
	別刷り・カラー超過ページ	¥ -	¥ -	¥ -	
	寄付金	¥ -	¥ -	¥ -	
小計		¥ 100,027	¥ 163,722	¥ 63,695	
科目計		¥ 1,458,027	¥ 1,479,722	¥ 21,695	
前期繰越収支差額		¥ 3,801,070	¥ 3,801,070	¥ -	
合計		¥ 5,259,097	¥ 5,280,792	¥ 21,695	

Ⅱ. 支出の部

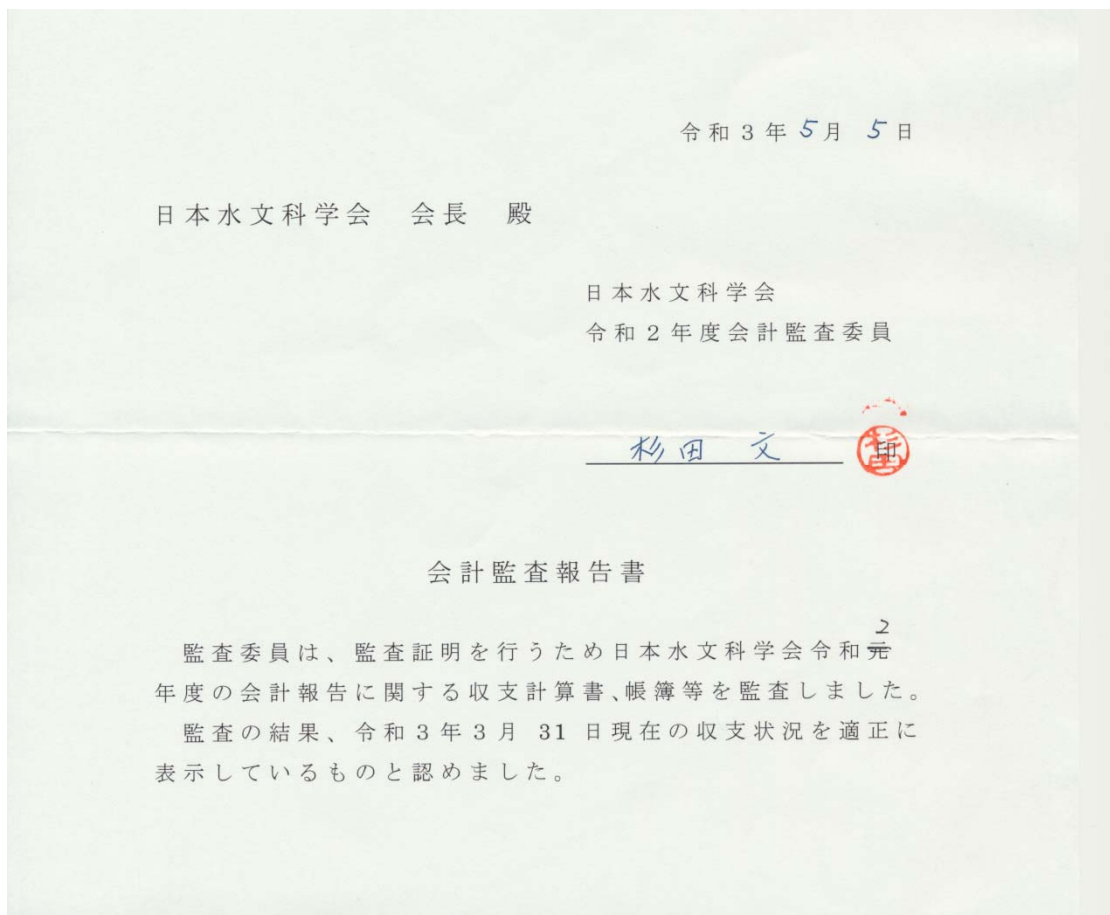
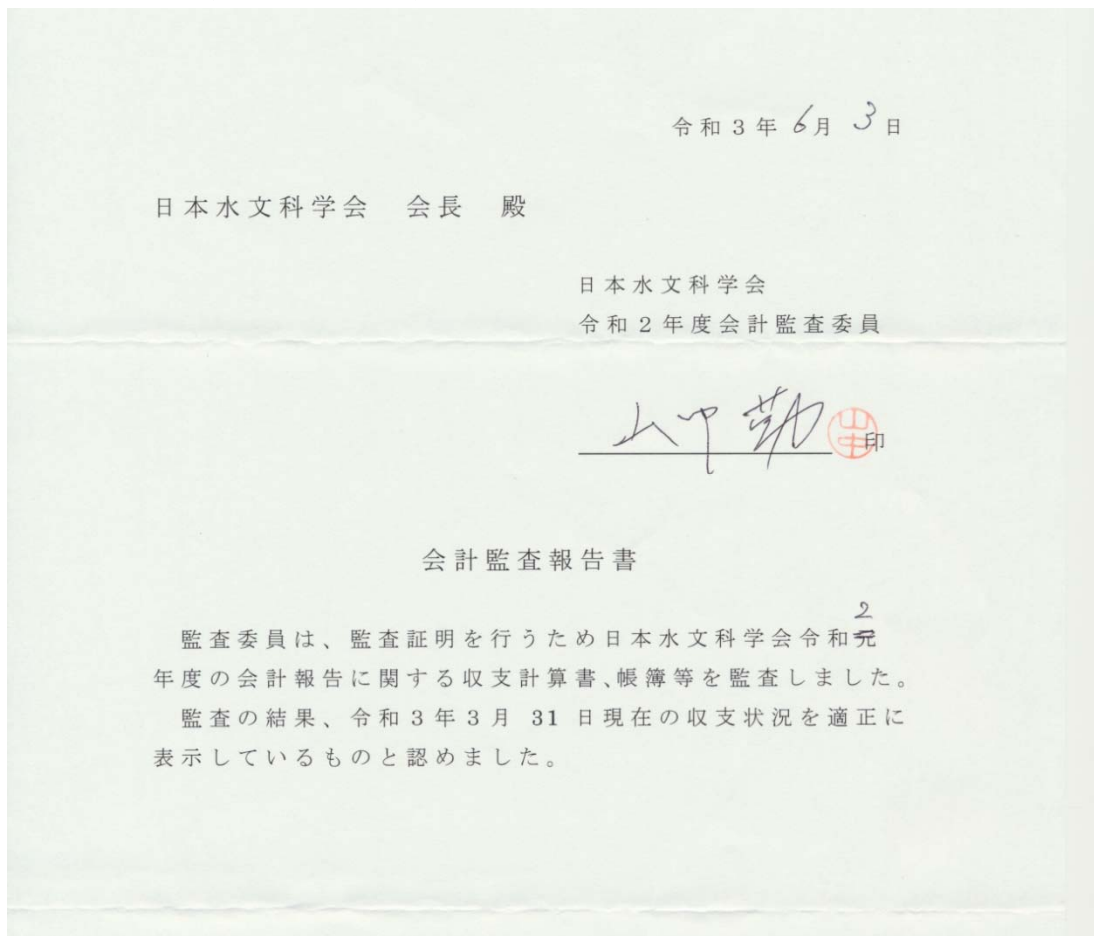
勘定科目		当年度予算額	支出済額	残額	備考
大科目	小科目	A	B	A-B	
大会支出	大会補助	¥ -	¥ -	¥ -	2020年大会中止
	大会追加補助	¥ -	¥ -	¥ -	
	プログラム、ボスター、要旨集印刷費	¥ -	¥ -	¥ -	
	交通費	¥ -	¥ -	¥ -	
小計		¥ -	¥ -	¥ -	
会誌発行費	会誌印刷費	¥ 1,000,000	¥ 880,242	¥ 119,758	50巻1-3号(3冊), 編集業務
	通信運搬費	¥ 100,000	¥ 102,799	¥ -2,799	会誌送料
	会費	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000	
	消耗品費	¥ 3,000	¥ -	¥ 3,000	
小計		¥ 1,113,000	¥ 983,041	¥ 129,959	
管理費	印刷費	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000	
	通信運搬費	¥ 20,000	¥ 9,798	¥ 10,202	送料, レンタルサーバー
	消耗品費	¥ 2,000	¥ 327	¥ 1,673	
	会費	¥ 10,000	¥ -	¥ 10,000	
	交通費	¥ 150,000	¥ -	¥ 150,000	
	業務委託費	¥ 500,000	¥ 449,695	¥ 50,305	会員業務, 会誌発送業務など
	雑費	¥ 5,000	¥ 2,519	¥ 2,481	振込手数料
小計		¥ 697,000	¥ 462,339	¥ 234,661	
選挙費	選挙事務委託費	¥ -	¥ -	¥ -	
その他	ワーキンググループ補助ほか	¥ 150,000	¥ -	¥ 150,000	
	地球惑星科学連合年会費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	
	HRL分担金	¥ 100,000	¥ 89,617	¥ 10,383	
	表彰費	¥ 20,000	¥ 15,391	¥ 4,609	2019年大会表彰費
小計		¥ 280,000	¥ 115,008	¥ 164,992	
科目計		¥ 2,090,000	¥ 1,560,388	¥ 529,612	
次年度繰越金		¥ 3,169,097	¥ 3,720,404	¥ -551,307	
合計		¥ 5,259,097	¥ 5,280,792	¥ -21,695	

2020年度貸借対照表

勘定科目	金額	勘定科目	金額
Ⅰ 資産の部		Ⅱ 負債の部	
預金		未払金	
ジャパンネット銀行	¥ 2,576,404		
ゆうちょ銀行	¥ 1,144,000	負債合計	¥ -
		Ⅲ 正味財産の部	
		前期繰越正味財産	¥ 3,801,070
		当期正味財産増加額	¥ -80,666
		正味財産合計	¥ 3,720,404
資産合計	¥ 3,720,404	負債及び正味財産合計	¥ 3,720,404

1.1 (3) 2020 年度会計監査報告

資料 3



1.2 審議事項

1.2 (1) 2021年度事業計画

資料 4

A 庶務委員会

- (1) 学会業務用メーリングリストの管理
- (2) 会員名簿の管理【国際文献社委託事務】

【契約項目】

契約・委託先	委託内容	期間
(株) 国際文献社	庶務事務・会計事務の一部	2021.04.01～2022.03.31
さくらのレンタルサーバ スタンダード 2契約※	学会ホームページ設置 学会業務用メーリングリスト設置	2021.04.01～2022.03.31 2021.04.04～2021.08.31

※学会ホームページ更新に伴い、一時的に1契約を追加した。その後、旧契約で運用していたメーリングリストを新契約に移設し、旧契約を8/31までに解約した。

B 会計委員会

- (1) 会費の徴収（8月）
- (2) 会務に伴う出納処理
- (3) 会費未納者への督促（12月）

C. 編集委員会

- (1) 会誌の発行：第51巻1号から第51巻3号（3冊）
- (2) HRL 運営委員会への委員派遣 林 武司

D. 集会委員会

- (1) 総会の開催
2021年10月31日（日）18時～、オンライン
- (2) 学術大会の開催
水文・水資源学会との合同大会（筑波大学、オンライン）
2021年9月15日（水）～9月18日（土）
- (3) 一般公開企画“身近な「水環境」”の開催
- (4) 学術大会における優秀発表賞の選考および表彰
- (5) 大会の開催・運営（大会実行委員会との連携）
- (6) 次年度大会の開催に係る調整

E 企画・広報委員会

- (1) 研究ワーキンググループ 1件
SWATモデルの汎用性向上による流域環境評価への活用ワーキンググループ
代表：清水裕太（農研機構）・齋藤光代（岡山大）、申請額：5万円/年、期間：2年間（2021年7月～2023年6月）
- (2) 災害時緊急調査補助金 募集中
- (3) 地球惑星科学連合大会での4学会共催セッション（A・HW20）

代表コンビーナ：コンビーナ：林 武司（地下水学会）、福士圭介（地球化学会）、榊原厚一・飯田真一（日本水文科学会）、山崎 大（水文・水資源学会・東大）

(4) 地球惑星科学連合大会での他の共催セッション

「流域生態系における物質輸送と循環：源流から沿岸まで」代表：前田守弘・入野智久・小野寺真一

(5) 地球惑星科学連合各種委員会委員の派遣・推薦（～2022.5.30）

- ・代表者（会長）近藤昭彦
- ・事務局（庶務委員長）宮下雄次
- ・連絡委員（企画委員長）町田 功
- ・環境・災害対応委員会（学会推薦）林 武司
- ・教育検討委員（学会推薦）上村剛史
- ・プログラム委員会（学会推薦）榊原厚一・飯田真一

(6) 学会ホームページの更新

- ・2021年4月にホームページリニューアル
- ・Movable Type から Word Press

(7) メーリングリスト

- ・HDE メーリングリストシステム（配信可能者：企画広報委員長・飯田）

(8) 水文誌ミニ巡検

※ 新型コロナウイルスの影響により中止

(9) その他

- ・マイページでの早期論文、会告・学会記事等のPDFのアップの維持（編集委員会・庶務委員会）

F 学会賞選考委員会

(1) 学会賞選考委員会・委員の改選

(2) 学術賞の選考

(3) 研究奨励賞の選考

(4) 功績賞の選考

(5) その他学会で取りまとめる賞応募の窓口対応、および優先順位付け

G 名誉会員候補者推薦委員会

(1) 名誉会員候補者の推薦(5名)

一柳錦平、細野高啓、利部慎、斎藤光代、樋口篤志

H 選挙管理委員会

(1) 日本水文科学会第14期(2022年4月～2025年3月)会長・評議員選挙の実施

1.2 (2) 2021 年度予算案

資料 5

2021年度予算書(案)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

I. 収入の部

勘定科目		当年度予算額	前年度予算額	差	備考
大科目	小科目	A	B	A-B	
会費収入	正会員(一般)会費	¥ 776,000	¥ 800,000	¥ -24,000	会費¥8,000 *97名分
	正会員(一般web)会費	¥ 256,000	¥ 256,000	¥ -	会費¥4,000 *64名分
	正会員(シニア)会費	¥ 24,000	¥ 28,000	¥ -4,000	会費¥4,000 *6名分
	正会員(永年)会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥50,000
	正会員(永年web)会費	¥ -	¥ -	¥ -	会費¥20,000
	学生会費	¥ 12,000	¥ 17,000	¥ -5,000	会費¥1,000 *12名分
	準会員会費	¥ 1,000	¥ 1,000	¥ -	会費¥1,000 *1名分
	購読会員会費(書店販売含む)	¥ 156,000	¥ 156,000	¥ -	購読¥14,000*6(書店¥12,000*6)
	賛助会員会費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	一口¥20,000 3社5口
小計		¥ 1,325,000	¥ 1,358,000	¥ -33,000	
大会収入	大会収入	¥ 100,000	¥ -	¥ 100,000	要旨集売上など
雑収入	利息収入	¥ 26	¥ 27	¥ -1	
	学会データベース	¥ 60,000	¥ 30,000	¥ 30,000	著作権料
	バックナンバー売り上げ	¥ -	¥ -	¥ -	
	広告	¥ 70,000	¥ 70,000	¥ -	
	別刷り・カラー超過ページ	¥ -	¥ -	¥ -	
	寄付金	¥ -	¥ -	¥ -	
小計		¥ 130,026	¥ 100,027	¥ 29,999	
科目計		¥ 1,555,026	¥ 1,458,027	¥ 96,999	
前期繰越収支差額		¥ 3,720,404	¥ 3,801,070	¥ -80,666	
合計		¥ 5,275,430	¥ 5,259,097	¥ 16,333	

II. 支出の部

勘定科目		当年度予算額	前年度予算額	差	備考
大科目	小科目	A	B	A-B	
大会支出	大会補助	¥ 200,000	¥ -	¥ 200,000	
	大会追加補助	¥ -	¥ -	¥ -	
	プロダクト、ポスター、要旨集印刷費	¥ -	¥ -	¥ -	
	交通費	¥ -	¥ -	¥ -	
小計		¥ 200,000	¥ -	¥ 200,000	
会誌発行費	会誌印刷費	¥ 900,000	¥ 1,000,000	¥ -100,000	年3冊、編集業務
	通信運搬費	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	会誌送料等
	会議費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	編集委員会(会議室料)
	消耗品費	¥ 3,000	¥ 3,000	¥ -	編集用消耗品
小計		¥ 1,013,000	¥ 1,113,000	¥ -100,000	
管理費	印刷費	¥ 5,000	¥ 10,000	¥ -5,000	学会封筒、総会通知等
	通信運搬費	¥ 10,000	¥ 20,000	¥ -10,000	送料、レンタルサーバー
	消耗品費	¥ 2,000	¥ 2,000	¥ -	
	会議費	¥ -	¥ 10,000	¥ -10,000	委員会(会議室料)
	交通費	¥ -	¥ 150,000	¥ -150,000	委員会旅費
	業務委託費	¥ 450,000	¥ 500,000	¥ -50,000	会員業務、会誌発送業務
	HP改修費	¥ 410,000	¥ -	¥ 410,000	
	雑費	¥ 5,000	¥ 5,000	¥ -	振込手数料
小計		¥ 882,000	¥ 697,000	¥ 185,000	
選挙費	選挙事務委託費	¥ 50,000	¥ -	¥ 50,000	
その他	ワーキンググループ補助ほか	¥ 50,000	¥ 150,000	¥ -100,000	
	地球惑星科学連合年会費	¥ 10,000	¥ 10,000	¥ -	
	HRL分担金	¥ 100,000	¥ 100,000	¥ -	
	表彰費	¥ 20,000	¥ 20,000	¥ -	表彰記念品代
小計		¥ 180,000	¥ 280,000	¥ -100,000	
科目計		¥ 2,325,000	¥ 2,090,000	¥ 235,000	
次年度繰越額		¥ 2,950,430	¥ 3,169,097	¥ -218,667	
合計		¥ 5,275,430	¥ 5,259,097	¥ 16,333	

収支

¥ -769,974 ¥ -631,973

1.2 (3) 会則9条(会費)の改定について

資料6

2013年度に会則を改定し、新たに年会費の安いweb会員制度を設けて会員増加を図った。しかし、その結果、会員数こそ微減に留まったものの(表-1.2(3)-1)、一般会員からweb会員への内部移行が進行し、結果的に会計収支が悪化する結果となった(表-1.2(3)-2)。

表-1.2(3)-1 会則改定以降の会員数の変化

年度末	名誉	正会員					学生	準会員	小計
		一般	一般web	シニア	シニアweb	永年			
2020	13	97	64	6	6	1	12	1	201
2019	13	104	63	7	5	1	18		211
2018	13	119	49	9	3	2	16		211
2017	10	125	44	11	3	2	12		206
2016									
2015	10	145	32	7	3	2	8		206
2014	10	153	30	9	3	2	9		216
2013									
2012	10	196		6			9		221

表-1.2(3)-2 会則改定以降の会計収支の変化

年度末	収入合計	前年度繰越額	年度内収入	年度内支出額	次年度繰越額	支出額合計
2020	¥ 5,280,792	¥ 3,801,070	¥ 1,479,722	¥ 1,560,388	¥ 3,720,404	¥ 5,280,792
2019	¥ 5,809,144	¥ 3,946,014	¥ 1,863,130	¥ 2,008,074	¥ 3,801,070	¥ 5,809,144
2018	¥ 6,274,406	¥ 4,163,663	¥ 2,110,743	¥ 2,328,392	¥ 3,946,014	¥ 6,274,406
2017	¥ 6,575,955	¥ 4,452,458	¥ 2,123,497	¥ 2,416,411	¥ 4,159,544	¥ 6,575,955
2016						
2015	¥ 7,373,611	¥ 5,416,536	¥ 1,957,075	¥ 2,663,347	¥ 4,710,264	¥ 7,373,611
2014	¥ 7,684,826	¥ 5,063,406	¥ 2,621,420	¥ 2,268,290	¥ 5,416,536	¥ 7,684,826
2013						
2012	¥ 8,337,358	¥ 5,766,400	¥ 2,570,958	¥ 3,609,369	¥ 4,727,989	¥ 8,337,358

今後も、会員数の大幅な増加が見込めないことから、学会会計の健全化を図るため、会則9条で定めるweb会員の年会費について、2022年度から現行の年額4,000円から6,000円に改定する下記の案を提案する。この改定により、年間の会費収入が2020年度会員数で128,000円(12%)の増加することが見込まれる。

旧	新	備考
(会費)	(会費)	
(略)	(略)	(略)
<u>一般web 年額 4,000円</u>	<u>一般web 年額 6,000円</u>	(変更)
(略)	(略)	(略)
附 則	附 則	
1. 第9条に関しては、 <u>2014</u> 年度から適用する。	1. 第9条に関しては、 <u>2022</u> 年度から適用する。	(変更)
(略)	(略)	(略)
	(2021年10月31日改正)	(追加)

1.2 (4) 名誉会員推薦について

資料 7

日本水文科学会会則第 6 条及び、日本水文科学会名誉会員選定規定に基づき、名誉会員候補者推薦委員会（会長 一柳錦平会員）が設置され、同委員長より常任委員長あてに下記の答申がなされたことを受け、下記の 2 名の会員を日本水文科学会名誉会員に推薦する。

正会員 嶋田 純

正会員 新見 治

嶋田 純 会員を名誉会員候補者とする推薦文

嶋田 純 正会員は、日本水文科学会において 5 期 15 年にわたり評議員を務められ、その間、3 期 9 年は常任委員も兼務されました。さらに、2016 年度から 2018 年度まで会長を務められ、今日まで本会の発展に尽力されました。また、本会のみならず、日本地下水学会副会長・会長、国際水文地質学会（IAH）副会長（アジア地区担当）、日本応用地質学会代議員、日本地球惑星科学連合代議員等、水文学に係わる内外の主要学協会において重責を務められました。

研究面におかれましては、水質や環境同位体を使った水循環の解明、地下水の流動や滞留時間の推定、水資源の持続的な管理、熊本地震が地下水に与える影響等、国内外のフィールドで数多くの研究成果を挙げられ、我が国における水文学の発展に多大な貢献をされてこられました。また、熊本県・市の地下水条例改定や熊本市の水検定制・水守制度、熊本県水の戦略会議委員、熊本県環境審議会会長、（公財）くまもと地下水財団理事・学術顧問等を通じて熊本県・市の地下水政策を指導されると共に、2013 年の国連“生命の水”最優秀賞の受賞を学術的に支えてこられました。

教育面におかれましては、1988 年に筑波大学講師に着任以降、同助教授、1999 年に熊本大学教授、同特任教授として、のべ 34 年間の長きにわたって奉職され、多くの研究者・技術者・教育者を指導・育成され、我が国における水文学の普及と人材育成に多大な貢献をされてこられました。

以上のように、嶋田 純 正会員は本会の発展のみならず、我が国の水文学界にとっても、特に顕著な功績があったものと認め、本会の名誉会員として適格と判断し、名誉会員候補として推薦致します。

2021 年度日本水文科学会名誉会員候補者推薦委員会

参考

嶋田 純 会員 日本水文科学会 経歴

1992 年 4 月～1995 年 3 月 評議員 常任委員 庶務委員長

1995 年 4 月～1998 年 3 月 評議員 常任委員 庶務委員長

2001 年 4 月～2004 年 3 月 評議員

2004 年 4 月～2007 年 3 月 評議員

2007 年 4 月～2010 年 3 月 評議員 常任委員 集会委員長

2016 年 4 月～2019 年 3 月 会長

新見 治 会員を名誉会員候補者とする推薦文

新見 治 正会員は、日本水文科学会において 6 期 18 年にわたり評議員を、3 期 9 年にわたり常任委員を務められ、今日まで本会の運営と発展にご尽力されました。また、本学会以外にも、日本地理学会や日本地理教育学会などで評議員や代議員を歴任され、水文学のみならず地理学に係わる主要学会において重責を務めてこられました。

研究面におかれましては、現在の持続可能な開発目標（SDGs）の先駆けとなる持続可能な水利用について、瀬戸内地域を中心にその地域性を踏まえて地道かつ精力的に取り組まれ、水利社会や水文誌に拡張されました。特に、香川県の伝統的な水利システムである「出水（ですい）」の衰退やその社会的意義を提示された論文など、社会科学的にも重要な研究成果を多数挙げてこられました。さらに、水文学および地理学分野の研究と教育との統合にも取り組んでこられました。

教育面におかれましては、1980 年に香川大学教育学部助手に着任以降、同講師、同助教授、同教授、同特命教授として奉職されるとともに、同大学教育学部長を歴任され、我が国における水文学の普及と人材育成に大きく貢献されました。

以上のように、新見 治 正会員は本会の発展のみならず、我が国の水文学界にとっても特に顕著な功績があったものと認め、本会の名誉会員として適格と判断し、名誉会員候補として推薦致します。

2021 年度日本水文科学会名誉会員候補者推薦委員会

参考

新見 治 会員 日本水文科学会 経歴

1992 年 4 月～1995 年 3 月 評議員

1995 年 4 月～1998 年 3 月 評議員 常任委員 集会委員長

1998 年 4 月～2001 年 3 月 評議員 常任委員 集会委員長

2004 年 4 月～2007 年 3 月 評議員 常任委員長

2007 年 4 月～2010 年 3 月 評議員

2010 年 4 月～2013 年 3 月 評議員

1.3 報告事項(2021 年度)

1.3 (1) 学会賞の選考について(学会賞選考委員会)

資料 8

2021 年度日本水文科学会表彰として、功績賞 1 件、学術賞 1 件、奨励賞 2 件を授与する。選考の結果と受賞理由を報告する。

2021 年 6 月 1 日より、学会メーリングリストおよび学会ホームページを通じ、同 7 月 30 日を締め切りとして功績賞および学術賞候補者推薦の募集を会員に周知した。その結果、功績賞 1 件、学術賞 1 件の候補者の推薦があった。該当期間中に日本水文科学会誌に発行された奨励賞候補の論文群、および推薦された功績賞・学術賞候補者について、日本水文科学会賞受賞者選考規程に従い学会賞選考委員会において厳正かつ慎重に審査を行ない、学会賞候補者を常任委員会に答申した。この答申について常任委員会で審議し承認され、さらに評議員会での承認を経て、下記の通り受賞者が決定された。

記

1. 功績賞

嶋田 純 会員（熊本大学 名誉教授）

嶋田会員は、長年にわたり日本水文科学会の運営に深く携わり、2016 年から 2018 年にかけては学会会長を務め、日本水文科学会の発展に著しい貢献をした。特に地下水を中心にした水循環に関する研究とその成果の普及により、水文科学における日本の高い研究水準を国内外に示した。研究面での貢献に加え、若手研究者育成や日本水文科学会誌を通じた発信などを通じ、教育・アウトリーチ等幅広い領域に貢献した。以上、功績賞にふさわしい多方面に渡る功績を数多く残していることから、嶋田会員に対し 2021 年度功績賞を授与することとした。

2. 学術賞

谷口 真人 会員（総合地球環境学研究所 副所長、教授）

谷口会員は、水文学に関係する格別の研究業績（気候変動と地下水の関係、海底湧出地下水、温度を利用したトレーサー水文学等、SCI 論文は 130 本におよび、被引用数も 6500 件を超える）とともに、多数の社会貢献（学術会議連携会員等数多くの委員を歴任）および国際貢献の実績も有しており、本学会（2010-2013 年 常任委員会委員長を始め、各種委員を歴任）のみならず、他の関連学会（2015-2019 年 日本地下水学会会長、2020-2022 年 JpGU 大気水圏科学セクションプレジデント等多数）、さらに国際的にも（IAHS 関連委員を歴任）高く評価されている。日本の水文学における国際的なプレゼンス向上に最も貢献してきた研究者の一人であることから、谷口会員に対し 2021 年度学術賞を授与することとした。

3. 奨励賞（1 件目）

齋藤 圭 会員（法政大学大学院人文科学研究科：所属は論文掲載時）

齋藤圭・小寺浩二 (2019): 中央アジア・イシク湖とその集水域河川及び地下水の主要化学成分. 日本水文科学会誌, 49 (2), 91-106.

本研究ノートは、中央アジア、キルギス共和国に位置するイシク湖における流入河川、湧水および湖水の数年間にわたる現地調査により得られた水質データを整理している。湖上の

観測結果が少ないなど、調査方法、考察や解析に課題はあるが、様々な制約を伴う海外でのフィールド調査に基づき収集した観測データと研究には価値がある。自然・人為影響を反映した複雑な流入河川と塩湖の水質の関係の研究成果を論文として取りまとめた点は大きく評価できる。また、困難に挑戦した調査結果を活かした研究発展も期待される。以上より筆頭著者である齋藤会員に対し 2021 年度奨励賞を授与することとした。

4. 奨励賞（2 件目）

安達 郁哉 会員（筑波大学院生命環境科学研究科：所属は論文掲載時）

安達郁哉・山中勤（2020）：中部地方の温泉に含まれる非天水成分の特徴と成因．日本水文科学会誌, 50 (2), 55-70.

本論文は、温泉に含まれる非天水起源流体について、中部地方に湧出するのべ 62 の温泉を採水し、水素・酸素安定同位体分析を中心とした多角的な解析アプローチにより、非天水起源水の寄与率および同位体平衡強度の地理的特徴や成因に関する洗練された議論を展開しており、研究成果の学術的な価値や論文の完成度は高く評価できる。強平衡水の成因の考察結果について課題も指摘されており、今後の研究発展も期待できる。以上より筆頭著者である安達会員に対し 2021 年度奨励賞を授与することとした。

1.3 (2) 日本水文科学会優秀発表賞選考規程の改定について

資料 9

2021 年度学術大会を水文・水資源学会と合同で行うにあたり、常任委員会で審議を行い、日本水文科学会優秀発表賞選考規程の改定を行った。

日本水文科学会優秀発表賞選考規程

旧	新	備考
(略)	(略)	(略)
第2条 日本水文科学会優秀発表賞は、学術大会において優秀な発表を行った 35 歳以下の正会員に与える。	第2条 日本水文科学会優秀発表賞は、学術大会において優秀な発表を行った 35 歳以下の正会員 <u>または学生会員の中から若干名</u> に与える。	(追加)
第3条 本会会則第34条に定める優秀発表賞選考委員会を学術大会ごとに設ける。 2 委員会は次の委員で組織する。 (1) 委員は本会正会員のうちから集会委員会が <u>6名以内を</u> 推薦し、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。	第3条 本会会則第34条に定める優秀発表賞選考委員会を学術大会ごとに設ける。 2 委員会は次の委員で組織する。 (1) 委員は本会正会員のうちから集会委員会が推薦し、常任委員会の議を経て会長が委嘱する。	(略)
(略)	(略)	(削除)
	第5条 <u>この規程は他学会と合同で開催する学術大会（以下、合同大会）に</u>	(新設)

